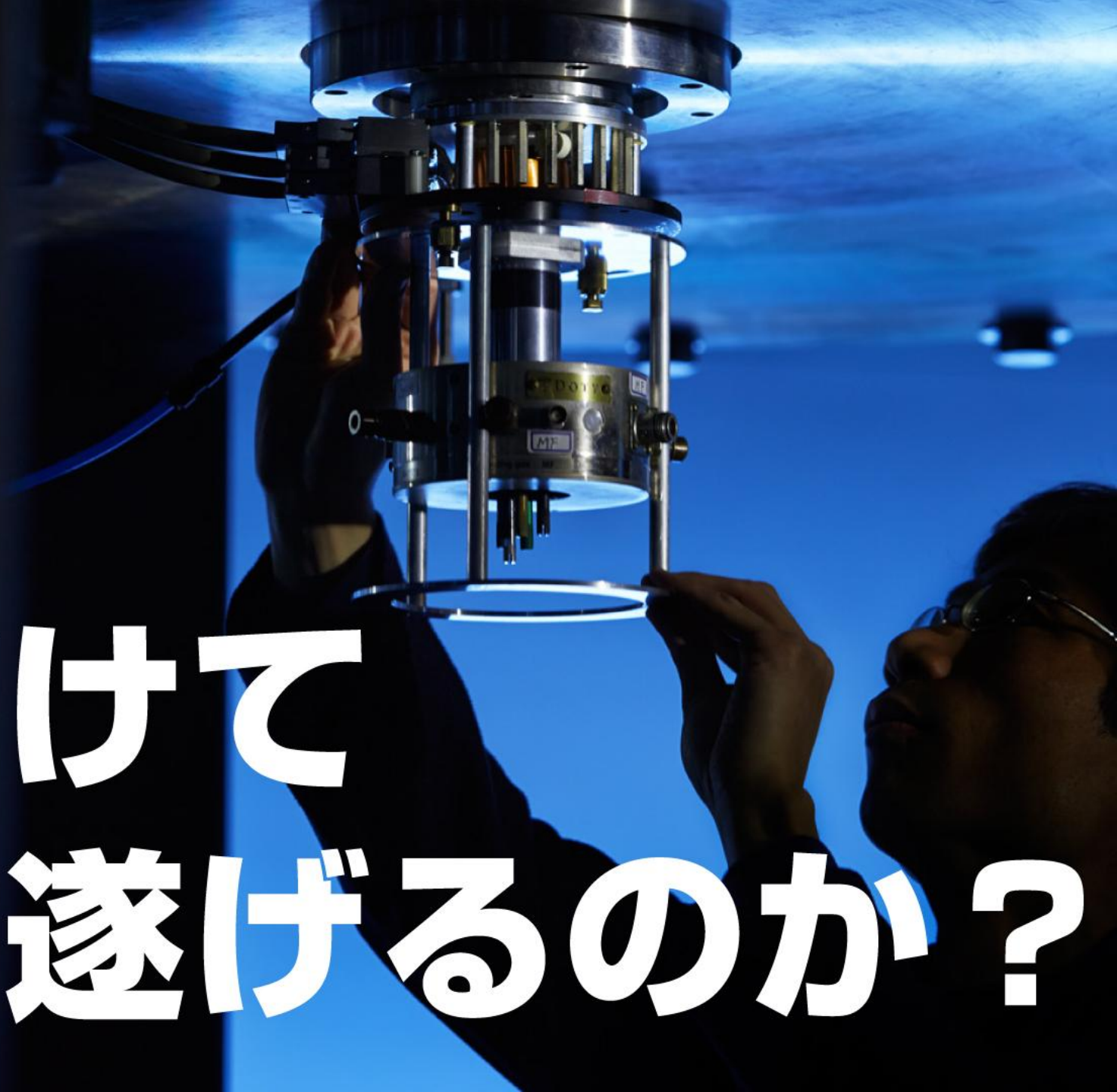




国立研究開発法人
物質・材料研究機構

君は
人生を賭けて
何を成し遂げるのか？





物質・材料研究機構（NIMS）とは

名 称 国立研究開発法人物質・材料研究機構
National Institute for Materials Science (NIMS)

目 的 物質・材料科学技術の水準の向上を図る

【NIMSのミッション】

物質・材料科学技術
に関する
基礎研究及び
基盤的研究開発

研究成果普及
及びその活用の促進

NIMSの施設
及び設備の共用

研究者・技術者の養成
及び資質の向上



物質・材料研究機構（NIMS）とは

所在地：茨城県 つくば市

千現地区



並木地区



桜地区



職員数

1,631

※R8.4.1時点

研究職

377 (407)

エンジニア職

82 (349)

事務職

119 (297)

計

578 (1053)

※()内は任期制

1956 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020

2001.4



科学技術庁金属材料技術研究所 (NRIM)

1966



科学技術庁無機材質研究所 (NIRIM)



国立研究開発法人物質・材料研究機構(NIMS)

独立行政法人

2015.4

国立研究開発法人

2016.10

特定国立研究開発法人

2006. 4. 1に非公務員化となり“みなし公務員”となった（それまで公務員）

つくば市について

都内からのアクセスも楽



TXつくば駅から秋葉原まで
最速 **45** 分

他機関との
連携がしやすい環境



つくば市の
国等の大学・研究機関は
29 機関※

仕事のリフレッシュや
買い物にも困りません



商業施設・公園
多数

研究する・暮らすのに
最適な周辺環境

急な体調不良も安心



夜や土日に診療できる
病院もあります

子どもの知的好奇心や
国際感覚も養えます



子育て・教育にも
良い環境

ちなみに、NIMSはつくば駅に
一番近い研究機関です！
(千現地区は駅から徒歩15分)

『特定国立研究開発法人』

理研 産総研 NIMS の3機関

材料で、世界を変える

物質・材料の進化と革新を先導し、未来社会を豊かにします



挑戦と革新

革新的な研究成果を創出するために、常に挑戦を続けます



社会とのつながり

社会との対話や協働を大切にし、創出された研究成果を社会へ還元します



人の協奏

人材の交流・育成の拠点として誰もが魅力を感じる開かれた研究環境を実現します



多様性を 尊重する文化

職員が互いを尊重して、国籍・性別・職種に依らず生き生きと働ける環境を創ります



誠実と公正

日本を代表する研究機関として、高い倫理観を持って、健全かつ透明な運営を行います

世界の明かりを変えた研究所

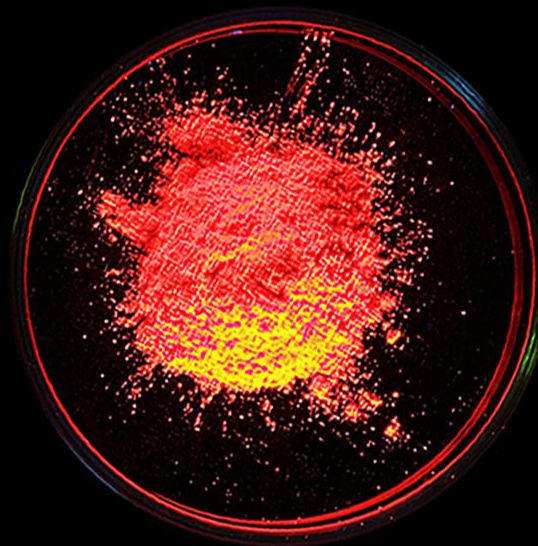
ニ ム ス
NIMS



白色LED照明

省エネの切り札、LED。実は少し前の白色LEDは赤い成分を充分に出せず青白かったのです。
でも、今は違います。

NIMSが作った白色LED。肌色がきれいに出来る液晶テレビに。落ち着いた色の明かりで照明に。
今や全世界でNIMSの白色LEDが使われています。すごいで、NIMS！



世界の飛行機を変える研究所

ニ ム ス
NIMS



超耐熱合金を使ったタービン動翼

省エネのジェット機。実は燃焼温度を高くすると燃費は向上します。

でもエンジン材料の耐熱温度に問題がありました。

NIMSは世界記録の耐熱超合金を開発。最新型ボーイング787に導入され、

1機で年間1億円の燃料代を節約します。世界の飛行機を変えています、NIMS！





ハイブリッド・電気自動車をまもる研究所

ニ ム ス
NIMS

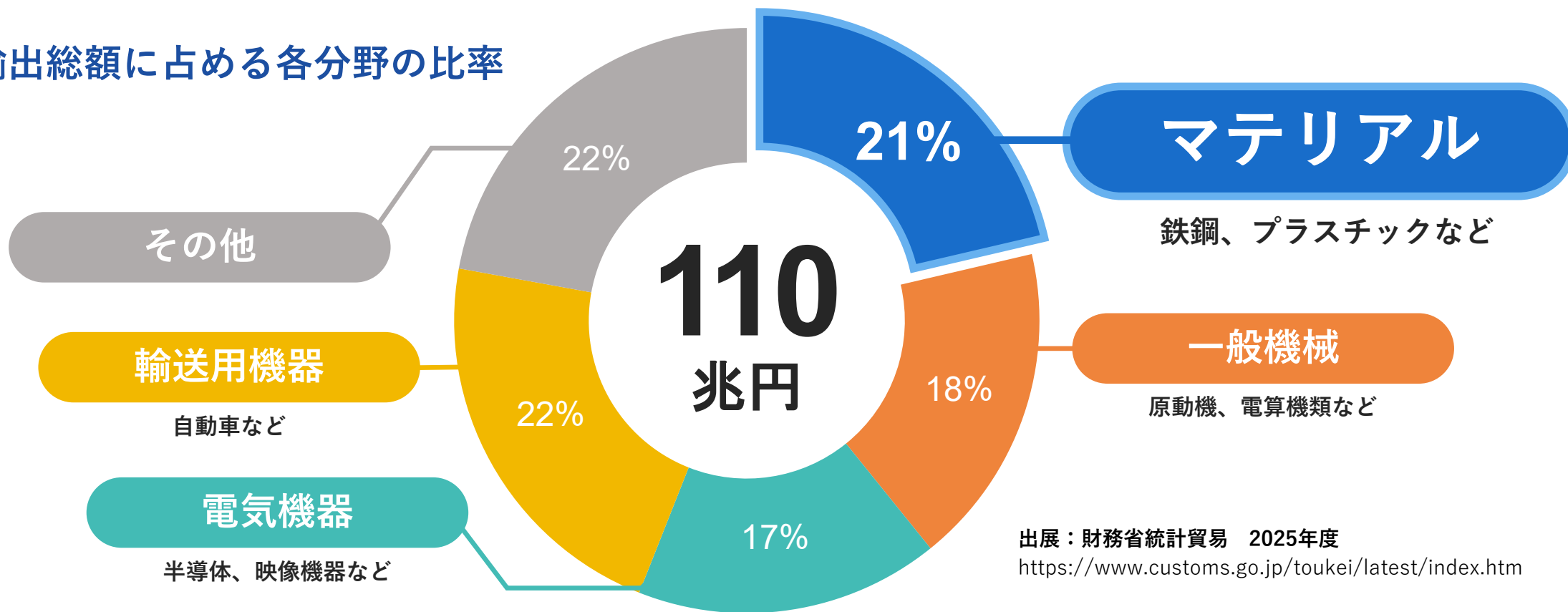


ジスプロシウムを使わない磁石

ハイブリッド自動車のモーターに欠かせない世界最強ネオジム磁石。
でも走行中に温度が高くなると磁力を失います。それを防ぐジスプロシウムはとても希少。
NIMSはジスプロシウムなしで磁石の耐熱性向上に成功しました。次世代自動車技術を救います。
大活躍、NIMS！



輸出総額に占める各分野の比率



マテリアル は日本の稼ぎ頭 輸出額の21% (年24兆円)

日本の経済基盤を支えるマテリアル分野。その研究に特化した国立研究開発法人、それがNIMS。

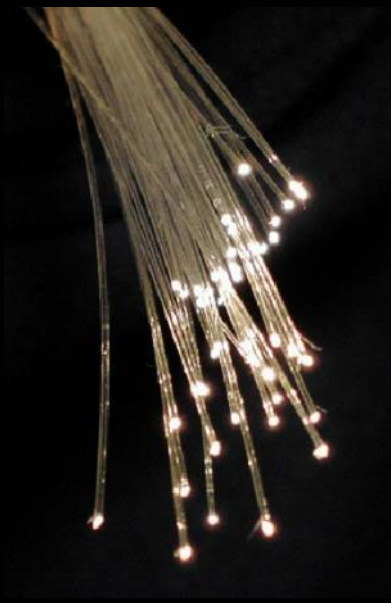


炭素繊維



リチウムイオン二次電池

日本が開発した材料



光ファイバー



青色LED



ネオジム磁石

分野別トップ10（材料科学/Materials Science）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文数の割合
1位	物質・材料研究機構（NIMS）	142	2.0%
2位	東京大学	79	1.4%
3位	東北大学	53	0.7%
4位	産業総合技術研究所	44	1.1%
5位	京都大学	35	0.9%
6位	九州大学	33	0.8%
6位	理化学研究所	32	2.5%
8位	北海道大学	24	0.9%
9位	早稲田大学	23	2.1%
10位	東京科学大学	22	0.5%



国内1位

他の分野でも
国内トップクラス

物理
2位

化学
3位

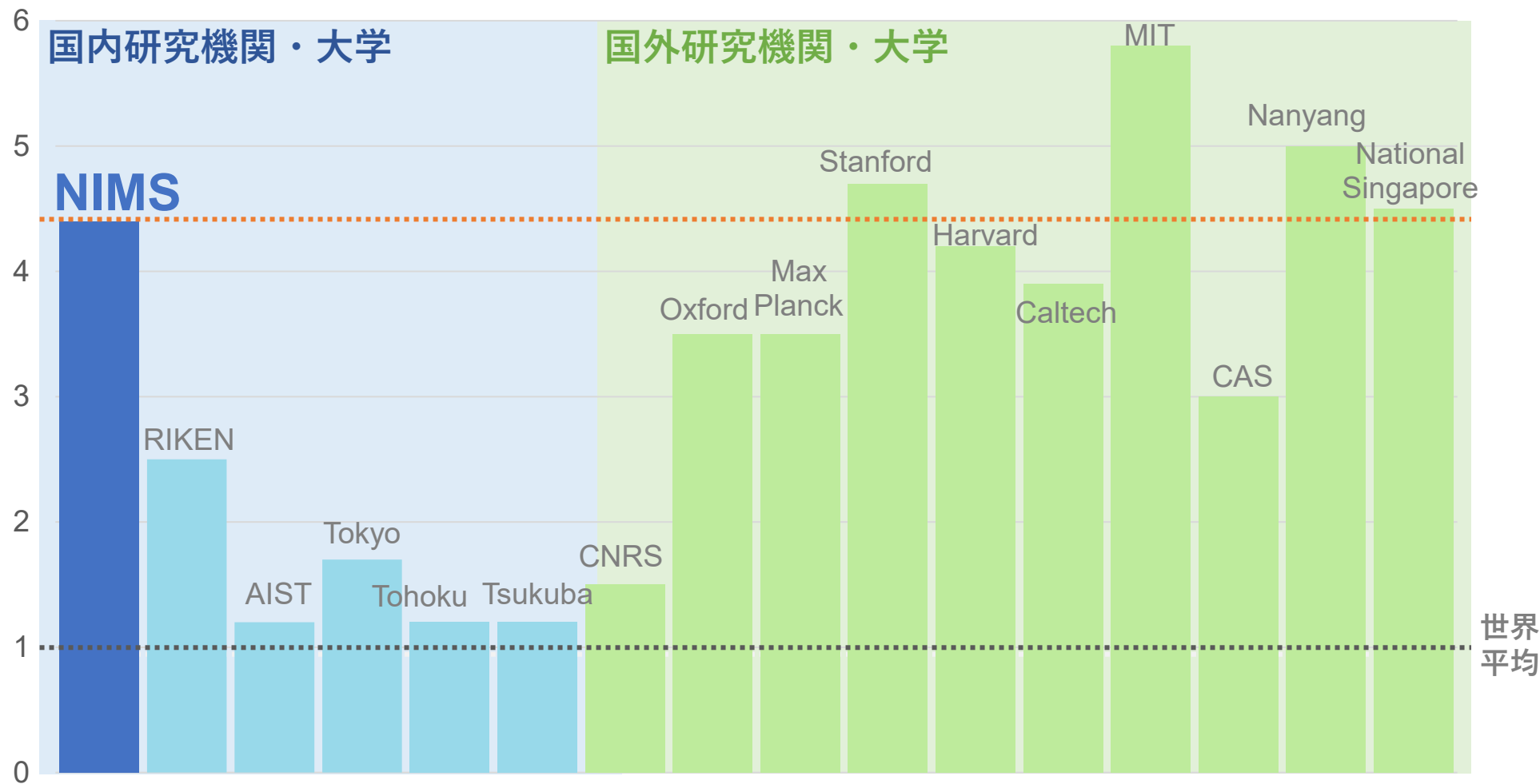
総合
6位

出典：インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関2025年版 - クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社

論文がハイレベル！NIMSは世界トップクラス研究機関！

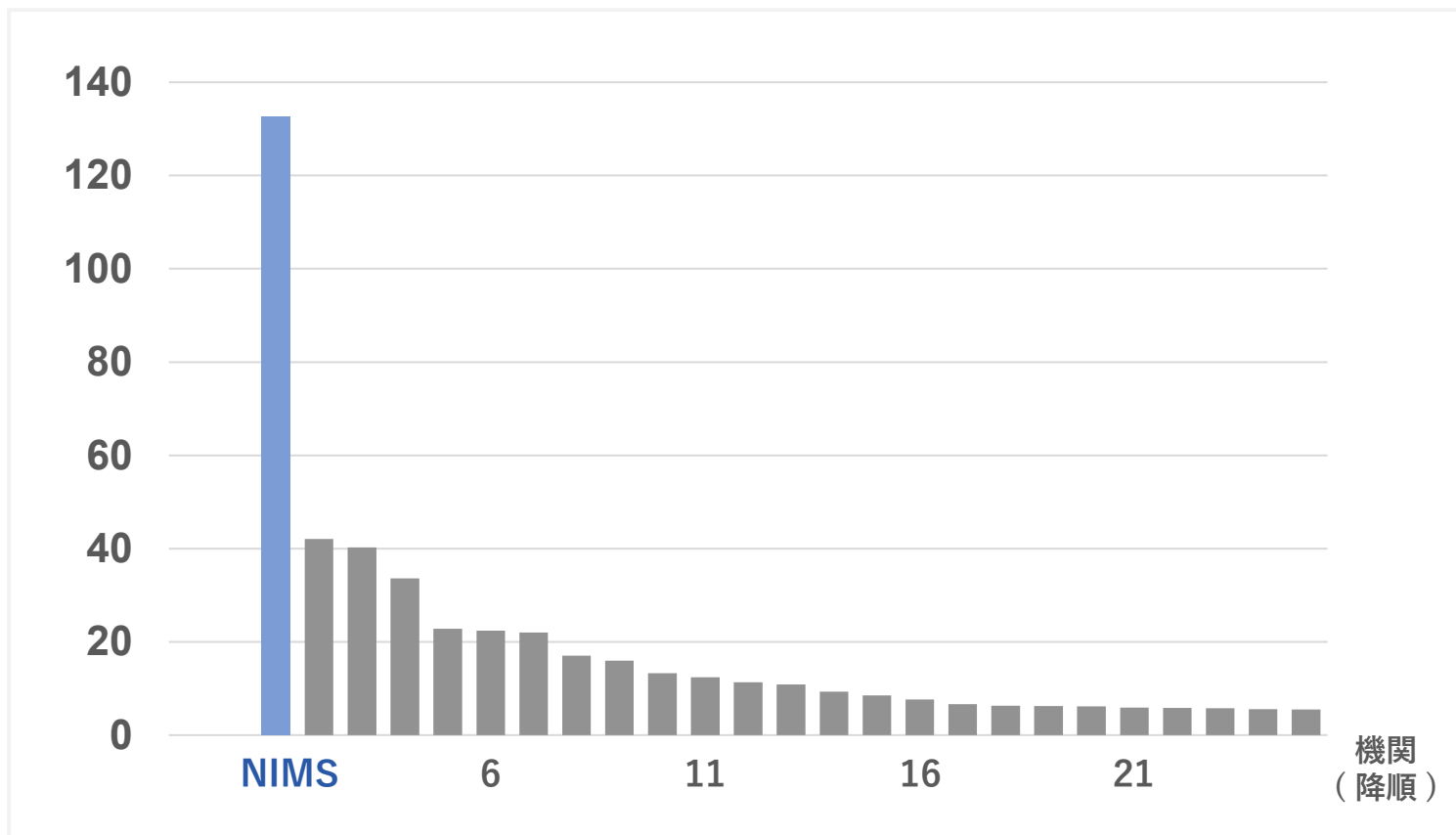


論文数に対する世界トップ1%論文の割合（2018-2024年平均値）



研究者100人当たりの特許収入、国内No.1！

研究者100人あたりの特許収入（2023年度）



出展：UNITT発行「大学技術移転サーベイ2024年度版」



国内1位

研究者100人あたりの特許収入を日本の研究機関・大学と比較すると、NIMSは突出して高い特許収入を得ています。

NIMSは、さまざまな材料を実用化し、よりよい社会の実現に貢献している。

NIMSを支える3つの職種

正職員（定年制職員）人数：578名

2026/4/1時点

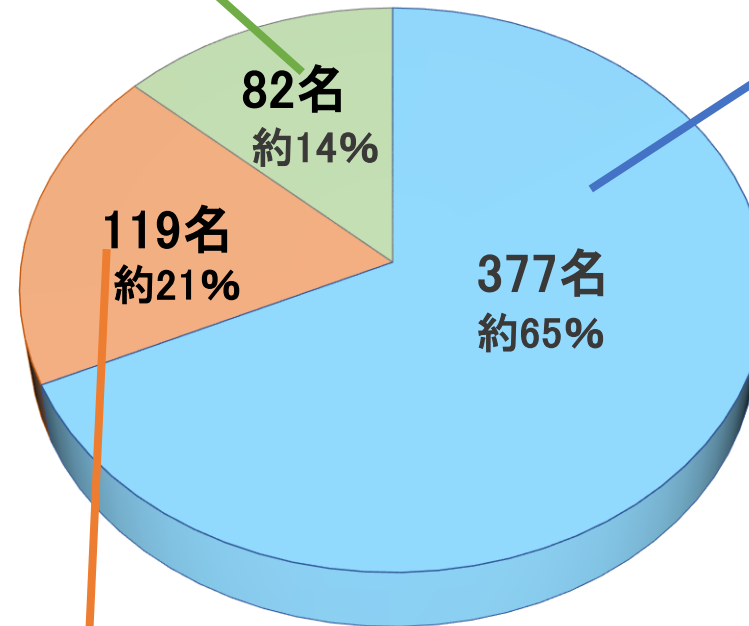
エンジニア職（技術職）

世界最高水準の研究成果を得るための独自の装置・プログラム・解析手法等の開発や高度化、研究環境構築などを担う。



研究職

知を結集し、明るい未来社会を創造する革新的新材料の開発に挑む。



事務職（総合職）

研究所の経営・運営や環境づくりを担う。
研究成果の最大化に貢献。



事務職の仕事

事務職の仕事は、組織運営により
NIMSそのものを支えること

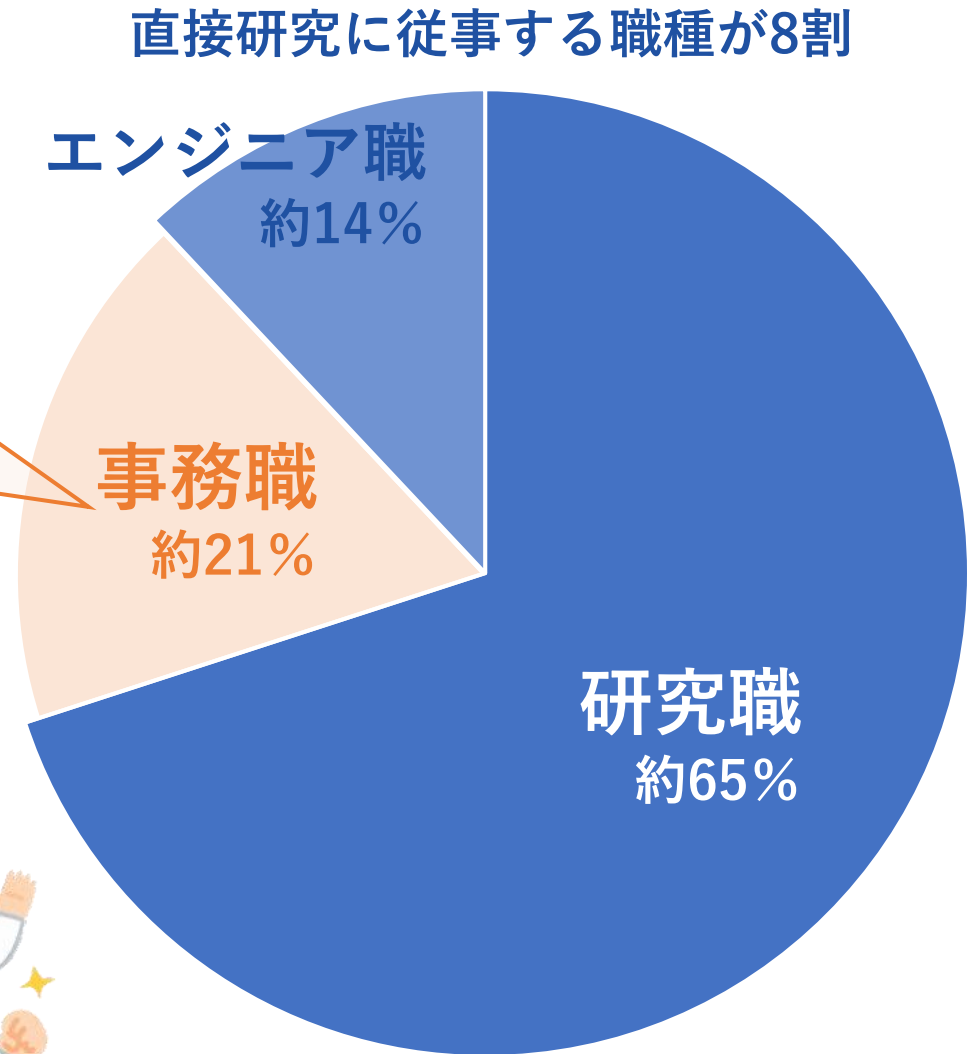
- 人・お金・施設・実験設備の管理
- 研究成果の社会還元・発信
- 外部・国際連携の強化

ジェネラリスト

NIMS運営のための幅広い業務に従事する

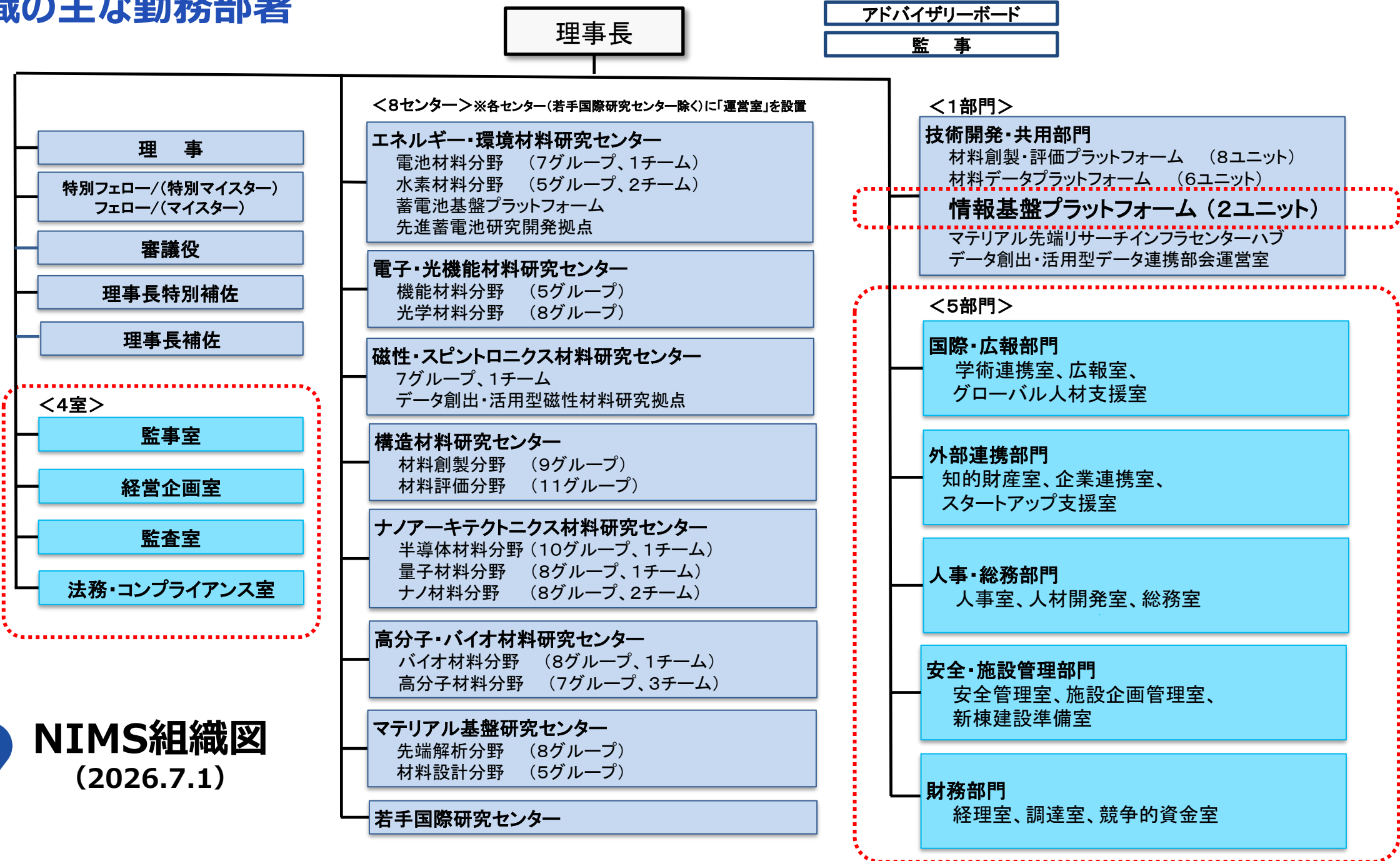
セミスペシャリスト

施設管理、会計等専門スキルを育てつつ、
複数の部門に跨る業務に従事する



< 定年制職員の内訳 >

事務職の主な勤務部署



NIMS組織図
(2026.7.1)

事務職の仕事



☆ここに記載した部門での業務のほか、研究部門における研究管理業務、コンプライアンス業務などがあります。

事務職のキャリアパス

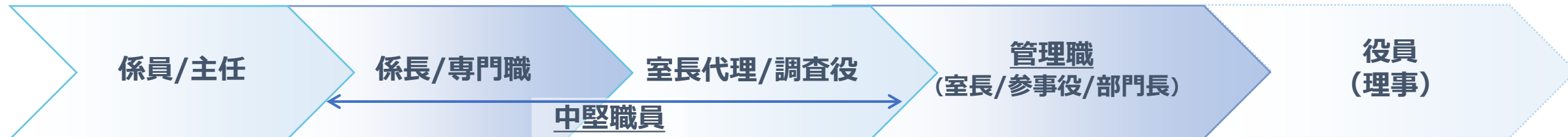
2～3年程度で異動し、様々な種類の業務を経験→機構の業務や全体像を把握



過去の経験を活かし、機構全体を見通した仕事が求められていく

事務職のキャリアパス

過去の経験を活かし、広い視野を持って仕事に取り組む



【NIMSにはさまざまなキャリアを歩むモデルケースがあります】

多くの部署を経験する総合職としてのキャリア（育児や介護をはさむ場合あり）

複数部署を経験したのちに適性のある業務を極めていくキャリア

育児や介護と両立しながら適性のある業務を極めていくキャリア

途中で上のモデルの異なるキャリアにルート変更のキャリア



事務職に求められる要素

○単なるアシスタントではなく、プレーヤーとして活躍

定年制事務職の業務は「研究の下支え」だが、「研究者のアシスタント」ではない。
研究者に負けない職業人としての
矜持をもって業務にあたる必要がある。



○各業務分野で磨かれる専門的能力と、 幅広い視野の両立

事務職の業務は多岐に亘り、それぞれの部署固有の知識を
効率よく身に付ける必要があるが、一方、これに縛られない多
角的な、各自の強みを生かした視点が必要とされる。

○芯の強さと協調性をバランスよく保持する力

研究職／エンジニア職と事務職とでは立場が異なるため、
業務上の意見の不一致が起きることも。
自分の考えをはっきり示すとともに、
相手の立場を理解する姿勢も
求められる。



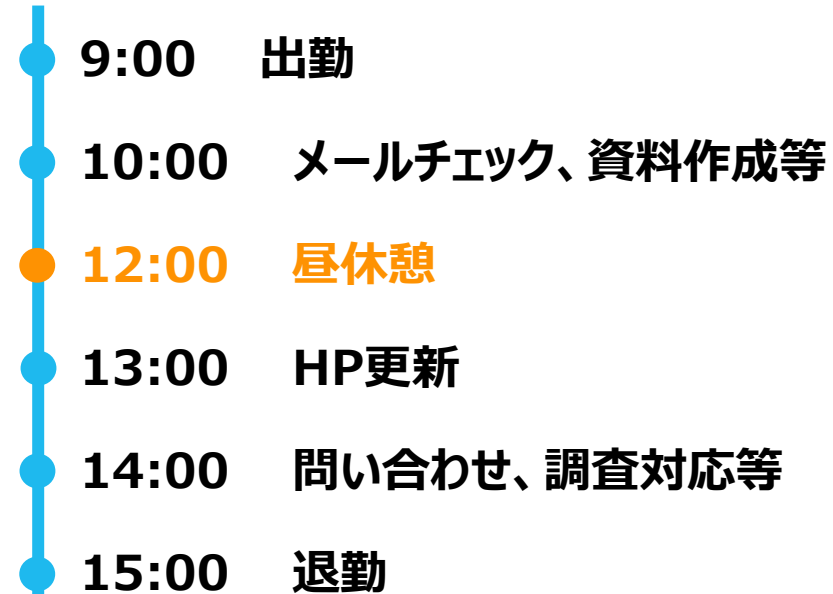
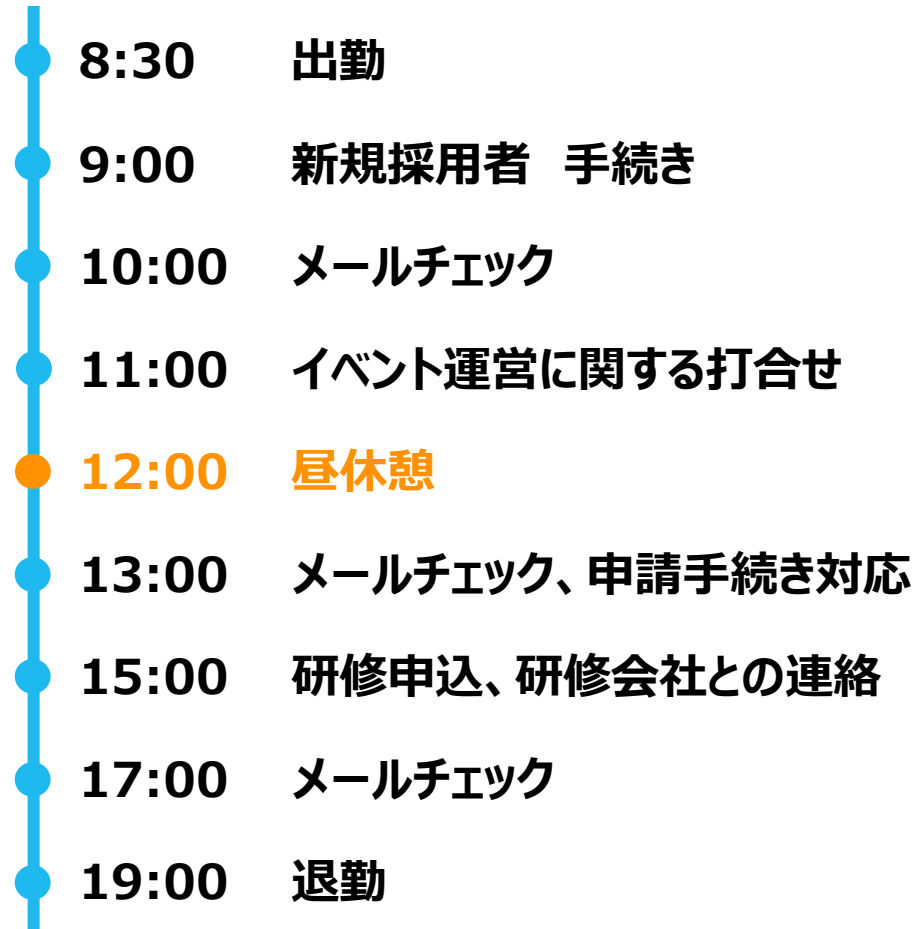
○公的機関の職員としての良識と責任をもった行動

NIMSの職員は、「公務に従事する職員」とされ、
いわゆる「みなし公務員」になる。
公務に従事する人間として恥ずかしくない姿を
常に意識することが大切。



事務職の1日

- ・NIMSの標準勤務時間は8:30~17:15（7時間45分）
- ・フレックスタイム制では出退勤の時間を調整可能！自分の生活に合わせた働き方ができる



早めに帰宅して
そのまま旅行へ・・・
等々

採用情報

勤務条件

- 勤 務 地 : 茨城県つくば市（関係機関への出向（１～２年）の可能性あり。）
- 勤 務 時 間 : 8時30分～17時15分（休憩時間：12時～13時）
※フレックスタイム制度有り
- 休 日・休 暇 : 週休2日（土日）、祝日、年末年始、年次休暇、夏季休暇、特別休暇等
- 給 与・待 遇 :
 - ・月給 30万円程度（基本給＋地域手当）（４大新卒の場合）
 - ・昇給年1回、賞与年2回（6月、12月、それぞれ約2．3月分）
 - ・諸手当有り（扶養手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当等）
 - ・退職手当有り
- 定 年 : 65歳
- 各 種 保 険 : 文部科学省共済組合加入、労災保険及び雇用保険適用
- 研 修 : 英語研修、資格取得補助等

選考スケジュール

WebES受付期間： 2026年7月21日（火） 12:00まで

適 性 検 査 ： 2026年7月21日（火） 23:59まで ※ES提出後受験可能

一 次 面 接 ： 2026年7月28日（火）～ 2026年7月30日（木）のいずれか
面接時間は30分程度

最 終 面 接 ： 2026年8月5日（水） 午後、2026年8月6日（木） 午後

選考結果は、Eメール等にて通知します。

※ 1次面接はオンライン（Web面接）形式、
最終面接は茨城県つくば市のNIMS千現地区において、対面形式で実施予定です。